



親子支援だより ほっと通信



令和3年1月12日(火) 浜松学院大学付属幼稚園
【心の相談員】中島祐子 【発行】橋本はるみ

♡「ホッとひと息」について、「ホッと安心」したり、「ホット(あたたか)な気分」に包まれますように…。
このおたよりは、日々大奮闘の親御さんへの心からのエールを込めて発行しています♡

(これまでのほっと通信は、園ホームページから読むことができます)

新年のご挨拶が遅くなってしまいましたが、今年もどうぞよろしくお願いいたします。

新年のほっと通信の原稿に取り組むのが遅くなってしまい、今日7日、2回目の緊急事態宣言が一都三県に発令された日に書き始めております。日本では受験シーズンとも重なり、こんなに日本中、いえ世界全体が、健康面・経済面ともに見通しのつかない新年は、前代未聞です。各国の対応を見ると、やはり国民の『命を守ること』最優先の対策を取った国が、結局は経済活動も守ることに繋がっているように見受けられます。戦後、経済復興最優先で突っ走ってきたこの国に住む私達に、コロナウイルスはいったい何を投げかけているのでしょうか？ひとりひとりが、自分の人生で真に守りたいものは何だろう？この家族で真に大事にすべきものは何だろう？と問わずこはいられない一年になる予感がします。

今月は、私自身の命の体験について分かち合わせて頂きたいと思います。実は、26年前の阪神淡路大震災当日、臨月まで育っていた第2子が天に召されました。常位胎盤剥離という子宮の中で大地震が起きたような、昔なら母子ともに亡くなる事態が起きたのです。第一子の予定日三日前に妊娠中毒症の数値が出て、やむなく帝王切開での出産となったのですが、第二子はきっと自然分娩で産めるだろうと呑気に構えていました。お腹に異変を感じた時も、きっとこれが陣痛に違いないと、出産に臨む気持ちで病院に向かいました。しかし、張り痛みが急激に増し、病院に着いて這うように産科に移動しました。心音を測ってみたら母体の心音しか聞こえず…一気に周囲が緊張感で包まれ、このままでは母体も危ないからと訳のわからないうちに緊急手術のサインをし、気がついたら全身麻酔から覚めてベッドの中이었습니다。出血が多くて布団を山のようにかけてもらっても底冷えが止まらなかったのですが、同じ血液型だった実の父の新鮮血で一命を取り止め、3日間の輸血で無事に乗り越えることができました。何とか子宮を残して頂け、その後、流産を経て次男・長女と授かりました。妊娠中毒症は回を重ねるにつれ悪化する為、数値が出ると帝王切開で出産、母子分離で保育器で育ててもらおう…という、赤ちゃんにとって厳しいスタートになってしまいましたが、二人目のことがあったので、とにかく無事に生まれてくれ、治療をして頂けることへの感謝しかありませんでした。

新年早々、とても重たいエピソードを読んで下さり、有難うございました。シェアすることについて悩んだのですが、お母さんも赤ちゃんも元気に生まれてくることは決して当たり前のことではなく、生まれてきた命は奇跡そのものであること、命を懸けて子どもを産み出してくれたお母さんに心からの「ありがとう」を伝えたいこと、無事に生まれてきた全ての命は、今世で確かに必要とされている意味のある命であること、目の前に生きてくれている我が子がいての様々な悩みであること、目の前の小さな命は、天国で魂として生まれた、墮胎、流産や死産や幼くして亡くなったたくさんの尊い命からの渾身の応援があつての命であること…このような真実を学んだことを、私自身の体験を通してお伝えしたい想いで綴らせて頂きました。

私にとってこの体験は、生涯忘れ得ぬ自分自身の核となる体験です。我が子の喪失の痛みは生涯消えませんが、年数を経るごとにギフト＝恵みもいっぱい頂いてきました。家庭では私も皆さんと同じイライラしたり落ち込んだりとごく普通の母親ですが、この子の命あってこそ…と立ち返れる原点があることが何より感謝です。カウンセリングのご縁も同じ想いです。「お母さん、生まれてきてくれて有難う。命がけでお子さんを産んでくれて有難う。ここまで無事に育ててくれて有難う。今日ここに訪れてくれて有難う。」……

そんな気持ちが溢れ、心の中ではぐはぐしています～♡～



(心の支援員、中島祐子)

今期の冬の訪れは気まぐれで、暖かいなあと思ったら急に寒くなったり…。先週の木曜日も雪がばらつき、やっと冬将軍がやってきたかしら、と思うほどです。

この辺りは冬でも「遠州の空っ風」のおかげ？か雪が降っても雪国のような積もり方はしませんが、年に1回、数年に何回か薄っすらと積むこともありますよね。そんな時は「雪だるま」を作る絶好のチャンス！！とは言え、雪をかき集めても小さな小さな雪だるまができるだけ。おまけに地面からすくうように雪をかき集めるので真っ白なゆきだるまではなく、ちょっと茶色がかっていたり。ジンジン手がしびれるほどの冷たさと格闘し、高さ10cmほどの雪だるまがやっとでき、保育園の玄関に飾ると、子どもたちが喜んでくれたのを思い出します。

雪国の人たちにとっては、雪は大変なものですが、雪に無縁の地域の子どもたちにとっては、雪は空からの贈り物？先週の珍しい雪に子どもたちは大喜び。♪い〜ぬは喜び庭駆け回り…♪の歌の様に全身で喜びを表していました。

でも私は、♪ねこはこたつで丸くなる〜♪がいいかなあ。

今年は雪は積もるかな？



(橋本 はるみ)

【1月のカウンセリング予定】

カウンセリング時間：1回50分

9時～9時50分／10時～10時50分／（お休み）／12時～12時50分／13時～13時50分

♡ 1月：7日（木）8日（金）14日（木）15日（金）22日（金）28（木）29（金）

【2月のカウンセリング予定】

カウンセリング時間：1回50分

9時～9時50分／10時～10時50分／（お休み）／12時～12時50分／13時～13時50分

♡ 2月：5日（金）12日（金）19日（金）25日（木）26日（金）

【子育てほっと広場】（時間9時半～11時半）（時間が変更になりました。）

☆1月：14日（木）29日（金）

（両日共、まだ空きがあります。初めての方もどうぞ♡）



◎カウンセリングは守秘義務を厳守します。（保育に関わること等は、保護者のご希望や必要性に応じて園教員と共有させていただく場合があります。その際はカウンセリング時にご意向をお伺いします。）

カウンセリングの対象は附属幼稚園の保護者となります。予約の際は、在園児保護者を優先しますが、空き状況により、未就園児活動に参加している保護者（当園に入園予定の方）と、当園卒園の保護者（卒園から1学期間に限る）を対象に、予約をお受けすることができます。また、未就園園児のお子さんを連れてカウンセリングやほっと広場を利用する場合、託児を依頼することも可能ですのでご相談ください。（1回1,000円の実費）

：ご希望の方は園に電話（472-5193）で空いている枠をご確認の上、ご予約下さい。

：会議室で行います。前の方の面接中は、階段下でお待ち下さい。

：カウンセリングは無料です。

